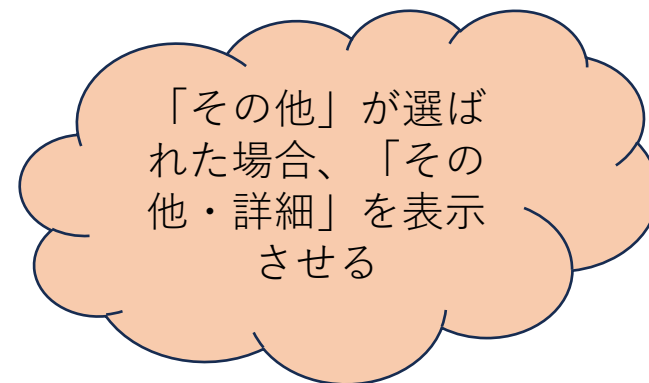


✎ 既存Record ID 1の編集.

Record ID	1
名前	
* 入力必須項目	
性別	☒ 男性 ☐ 女性
* 入力必須項目	
生年月日	1987-01-28 今日 Y-M-D
* 入力必須項目	
既往歴	☐ 糖尿病 ☒ 高血圧 ☐ 心臓病 ☐ その他
* 入力必須項目	
身長 (cm)	150.0
* 入力必須項目	小数点第一まで入力



既往歴	☐ 糖尿病 ☒ 高血圧 ☐ 心臓病 ☒ その他
* 入力必須項目	
その他・詳細	
* 入力必須項目	

表示欄を拡張する

①フォームの編集画面で、「その他・詳細」フィールド（テキストボックス）を追加します

変数名: kiou

既往歴

* 入力必須項目

☐ 糖尿病 ☐ 高血圧 ☐ 心臓病 ☐ その他

フィールドを追加 マトリックスのフィールドを追加 フィールドバンクからのインポート

変数名: sonohoka

その他・詳細

* 入力必須項目

表示欄を拡張する

「その他・詳細」
の緑色のアイコン
をクリックします

②既往歴で「その他」が選択された場合に、「その他・詳細」を表示する分岐処理を記述します。そのために、分岐ロジックの編集画面を開きます。

分岐ロジックの編集画面

分岐ロジックを追加/編集

このフィールドを特定の条件で非表示にする場合に分岐ロジックが使用できます。
分岐ロジックが定義されていて、条件に該当する場合のみ、フィールドが表示されます。高度な分岐ロジックの構文を書く方法と、非常に簡単な方法でロジックを構築できるドラッグアンドドロップロジックビルダー方法を選択して、分岐条件を指定できます。
それぞれの方法はいつでも切り替えられますが、高度な分岐ロジックの構文があまりにも複雑になった場合、ドラッグアンドドロップ方式に切り替えることができないことがありますので注意してください。

右のフィールドに対して、以下の方法を選択します： **sonohoka** - その他・詳細

☒ 高度な分岐ロジックの構文 使い方 ☐ ロジック分岐 ☐ スマート変数 ☐ 特殊な関数

フィールドを表示する条件

次のレコードを使ってロジックテスト： -レコードを選択-

ロジックを消去

— OR —

保存

キャンセル

分岐ロジックを追加/編集

— OR —

☒ ドラッグ&ドロップ・ロジック・ビルダー

他のフィールドから選択
(右側のボックスに下の選択をドラッグします)

record_id = (基準定義)

name = (基準定義)

sex = 男性 (1)

sex = 女性 (2)

seinenngappi = (基準定義)

kiou = 糖尿病 (1)

kiou = 高血圧 (2)

kiou = 心臓病 (3)

→

Drag and Drop

→

フィールドを表示する条件

☒ 全てが当てはまる

☐ いずれかは当てはまる

ロジックを消去

分岐ロジックの編集画面は、上下2つのパートに分かれています。
上部は、分岐ロジックを、自由に記述できますが、文法などの知識が必要なため、上級者向けの画面です。
下のパートは、分岐の条件を、ドラッグ&ドロップで記述できる、初中級者向けの画面です。
上の画面では、下の画面では記述できない、複雑な処理を記述することも可能です。

分岐ロジックを追加/編集

— OR —

ドラッグ&ドロップ・ロジック・ビルダー

他のフィールドから選択

(右側のボックスに下の選択をドラッグします)

- sex = 女性 (2)
- seinengappi = (基準定義)
- kiou = 糖尿病 (1)
- kiou = 高血圧 (2)
- kiou = 心臓病 (3)
- kiou = その他 (4)
- height = (基準定義)
- weight = (基準定義)

フィールドを表示する条件

- ☒ 全てが当てはまる
- ☐ いずれかは当てはまる

kiou = その他 (4) ✕

Drag
and
Drop

ロジックを消去

フィールドを表示する
条件について

複数の条件をドロップした場合、
それらの条件が、全て当てはまる
場合に示したい場合は、
「全てが当てはまる」を、いずれかの条件
が成立した場合に示したい場合は、
「いずれかは当てはまる」をチェックする

① 既往歴（変数
名:kiou）の選択肢で、
「その他」を選んで、
右側にDrag&Dropする

保存

キャンセル

② 保存ボタン
を押す

 変数名 : kiou

既往歴
* 入力必須項目

☐ 糖尿病 ☐ 高血圧 ☐ 心臓病 ☐ その他

[フィールドを追加](#) [マトリックスのフィールドを追加](#) [フィールドバンクからのインポート](#)

 変数名 : sonohoka

その他・詳細
* 入力必須項目

分岐ロジック : [kiou(4)] = '1'

① 追加した分岐ロジック

② 再度、緑色の矢印アイコンをクリックして、分岐ロジック編集画面を表示してみると、前画面と同じ式が、上部の画面に表示されている。慣れてきたら、こちらで定義してみましょう。ロジック分岐アイコンで、ヘルプが表示されます

分岐ロジックを追加/編集

このフィールドを特定の条件で非表示にする場合に分岐ロジックが使用できます。分岐ロジックが定義されていて、条件に該当する場合のみ、フィールドが表示されます。高度な分岐ロジックの構文を書く方法と、非常に簡単な方法でロジックを構築できるドラッグアンドドロップロジックビルダー方法を選択して、条件を指定できます。それぞれの方法はいつでも切り替えられますが、高度な分岐ロジックの構文があまりにも複雑な場合、ドラッグアンドドロップ方式に切り替えることができないことがありますので注意してください。

右のフィールドに対して、以下の方法を選択します： **sonohoka - その他・詳細**



高度な分岐ロジックの構文

使い方

 ロジック分岐

 スマート変数

 特殊な関数

フィールドを表示する条件

[kiou(4)] = '1'

[ロジックを消去](#)

次のレコードを使ってロジックテスト： - レコードを選択 -

ドラッグ&ドロップビルダー、その他の例（数値の条件指定）

分岐ロジックを追加/編集

— OR —

ドラッグ&ドロップ・ロジック・ビルダー

他のフィールドから選択

(右側のボックスに下の選択をドラッグします)

kiou = その他 (4)
sonohoka = (基準定義)
height = (基準定義)
weight = (基準定義)
bmi = (基準定義)
basic_complete = Incomplete (0)
basic_complete = Unverified (1)
basic_complete = Complete (2)

Drag
and
Drop

フィールドを表示する条件

- ☒ 全てが当てはまる
☐ いずれかは当てはまる

weight = 100

>
>=
=
<=
<
<>

体重(変数名: weight)が、
100 を超えている場合
に、メッセージを表示

変数名: weight

体重 (kg)

* 入力必須項目

小数点第一まで入力

フィールドを追加

マトリックスのフィールドを追加

フィールドバンクからのインポート

変数名: mes1

分岐ロジック: [weight] > 100

体重が多すぎます。食生活に注意しましょう

フィールドの編集

フィールドタイプを選んで、下の[保存]ボタンをクリックすると、新しいフィールドを追加できます。
フィールドタイプの概要については、次のビデオが参考になります。-> [フィールドタイプについてのビデオ\(5分\)](#)

フィールドタイプ: 説明文(画像/映像/音声/添付ファイル付き)

フィールドラベル

☐ リッチテキストエディタを使用する ?

```
<div style="background-color: #FFFF99; font-size: 20px; padding: 20px 0 10px 0; border-style: solid; border-color: #ff6347; color: red; text-align: center;"> 体重が多すぎます。食生活に注意しましょう</div>
```

変数名 (論理、計算、およびエクスポ

mes1

半角のアルファベット小文字、数字、および
アンダースコアのみ

よく使う分岐処理集

【文法の基本】

- (1) 変数は、[] で囲む
- (2) 文字列は、" (シングルコーテーション) で囲む
- (3) 論理演算子 (数値の比較ではない場合) = 等しい, != 等しくない, and/or かつ/または
- (4) 比較演算子 = 等しい, <> 等しくない, >, >=, <, <=
- (5) 条件付きロジック If/Then/Else が利用できる。 (特殊な関数アイコンクリックで詳細確認をお願いします)

No.	分岐処理で行いたいこと (例)	分岐処理の書き方
01	ラジオボタン「喫煙の有無」で、「はい」が選択された場合に表示する (変数名:smoke_yn, 選択肢の値:1,0)	[smoke_yn] = '1' *前項でのチェックボックスの場合と、記述の仕方が違うことに注意。[smoke_yn(1)] = '1' ではない。
02	1つ前のフィールドに、値が入力された場合に、 (次のフィールドを) 表示する 例) 手術日1(変数名: op_date1)が入力された場合、手術日2を表示する	[op_date1] != " 【説明】変数 op_date1 が、空白("")でない = 何か値が入力されている
03	ラジオボタン適格条件1,2(変数名: cond1, cond2)が満たされ (はいが選択される)、ラジオボタン除外条件1(変数名: ex_cond1)が、満たされない場合 (いいえが選択される) に、「適格」 (説明フィールド) と表示する。ラジオボタンのはい、いいえの選択肢の値は、1,0 とする	[cond1] = '1' and [cond2] = '1' and [ex_cond1] = '0' ラジオボタンが未選択の場合を考慮した場合 [cond1] != " and [cond2] != " and [ex_cond1] != " and [cond1] = '1' and [cond2] = '1' and [ex_cond1] = '0'

よく使う分岐処理集（その2）

No.	分岐処理で行いたいこと（例）	分岐処理の書き方
04	チェックボックス手術歴（変数名: op_history）で、心臓病(選択肢の値:4)または、狭心症(選択肢の値:5)が選択された場合に、術式を表示する	<code>[op_history(4)] = '1' or [op_history(5)] = '1'</code> 【説明】 または が、 or で表現されることに注意
05	身長(変数名:height)と体重(weight)が入力されている場合に、自動計算フィールドBMIで、計算を行う	【自動計算ロジックでの記述】 <code>if([height] != "" and [weight] != "", round(…BMI 計算式…), “ ”)</code> 【意味】 heightとweightに、値が設定されているならば、BMI値を計算する、それ以外は、”(空白)を返す、つまり、計算を行わない。条件付きロジック で実現しています
06	体重(変数名: weight)が、100.0 kgを超えている場合に、警告メッセージを出す	<code>[weight] > 100.0</code>